

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【公表番号】特表2003-514040(P2003-514040A)

【公表日】平成15年4月15日(2003.4.15)

【出願番号】特願2001-535433(P2001-535433)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 G 18/48

//(C 0 8 G 18/48

C 0 8 G 101:00)

【F I】

C 0 8 G 18/48 F

C 0 8 G 18/48 F

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成15年6月18日(2003.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) 少なくとも80重量%の4,4'-MDIを含むポリイソシアネート配合物；

b1) EOが末端EO及び/又はランダムEOとして存在し、全EO含有率が少なくとも50重量%である、2-6の平均公称ヒドロキシ官能価を有する、ポリオキシエチレン-ポリオキシプロピレンポリオール；

b2) EOが末端EO及び/又はランダムEOとして存在し、全EO含有率が20-50重量%間であり、少なくとも50%の第一ヒドロキシ含有率を有する、2-6の平均公称ヒドロキシ官能価を有する、ポリオキシエチレン-ポリオキシプロピレンポリオール；

b3) 少なくとも50%の第一ヒドロキシ含有率を有し、そして10ないし20重量%のEO含有率を有する、2-6の平均公称ヒドロキシ官能価を有する、ポリオキシエチレン-ポリオキシプロピレンポリオール；

これらのポリオールb1、b2及びb3は、b1、b2、及びb3の混合した重量に基づく次の比率、b1:40-90重量%、b2:5-60重量%、b3:0-20重量%に従って反応される；

c) 水；及び

d) 本質的に既知の添加剤及び助剤；

を反応させることによって、70-120のNCO指数で高レジリエンス軟質ポリウレタンフォームを調製するためのプレポリマー法であって、そしてここにおいて、前記ポリイソシアネートプレポリマーが20重量%より低いNCO値を有する、前記方法。

【請求項2】

前記ポリオールb1、b2及びb3は、b1、b2、及びb3を混合した重量に基づいて、b1:50-80重量%、b2:10-40重量%、b3:0-10重量%の比率で反応される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ポリオールb2)が、-PO-PO/EO-EO型である、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項 4】

前記ポリオール b 2) が、 - P O / E O - E O 型である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ポリオール b 2) が、 - P O - E O 型である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ポリオール b 1 、 b 2 及び b 3 の官能価が 2 - 4 である、請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

前記ポリオール b 1 ないし b 3 が、更に分散された粒子を含む、請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

N C O 値が、 7 ないし 1 5 重量 % である、請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

A) ポリイソシアネートを請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載のポリオール配合物の一部と反応させることによって得られる、 7 ないし 2 0 重量 % の N C O 値を有するポリイソシアネートプレポリマー、及び B) 請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載のポリオール配合物の残部及び水を含むイソシアネート反応性成分を含む反応系。

【請求項 10】

前記ポリオール配合物の一部が、ポリオール b 1) に含まれる、請求項 9 に記載の反応系。